

2020年5月11日

NPO日本消化器がん検診精度管理評価機構

2020年度 胃がんX線検診技術部門B資格検定試験ならびに読影部門B資格検定試験
の中止に関するご連絡 (第2報)

理事長代行 杉野吉則
X線検診精度管理・評価委員会 委員長 剛崎寛徳
同 副委員長 吉田諭史

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

2020年度技術部門B資格検定試験(新規)の筆記試験および技能検定(新規・更新)、ならびに読影部門B資格検定試験(新規・更新)の筆記試験は、新型コロナウイルスの収束が見通せない現状を鑑み、**中止**とすることといたしました。

年度内に開催を前提としてさまざまに検討いたしました。ここ1年は全国の医療機関・検診施設において感染防止対策や職場環境の変更があいつぐことが予測され、本年度内の開催を断念いたしました。受験を予定されていた皆様には、第1報と異なる内容となり申し訳ございません。ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

すでに受験申請を完了されている皆様におかれましては、正規の検定試験が再開されるまでのあいだ、**技術あるいは読影部門テキスト2020年度web版**をよくお読みになり、**8月17日～9月5日開講のe-ラーニング講習**を受講し修了して下さり、全国的なX線撮影ならびに読影のさらなる精度向上にご尽力くださいますよう重ねてお願いいたします。

以下に、このたびの中止に伴う特例措置を示します。

記

1) 2015年度(平成27年度)に技術部門B資格あるいは読影部門B資格を取得した者については、その有効期間を2021年度まで延長します。2021年度検定試験を受験する場合には、更新に要する単位を計25単位から15単位に減免し、必須単位である学術集会への参加(参加証明証の提出)を要しないこととします。また、本措置は2021年度検定試験(更新)を受験する更新保留申請者にも適用いたします。

2) 検定試験の審査要件のひとつである2020年度e-ラーニング方式検定講習を修了された方は、次回2021年度に開催予定の検定試験において同講習の終了を免除します。ただし、2021年度e-ラーニング方式検定講習は期間中、閲覧可能にいたします。

以上